



勝利の女神—うどん—

愛知県豊橋市立
本郷中学校・3年
木下 万菜

私は中学3年の水泳部です。そしていつも大会に、弁当としてうどんを持っていきます。

その理由は、2つあります。

1つ目は、腹持ちがいいという事です。水泳の大会は夏にしかなく地区大会では1日ですべての競技が終わってしまいます。自分の競技に合わせて昼食を摂るので短時間で食べないといけない時もあります。そんな時に出会ったのが「うどん」です。スルスルと食べやすく、油っこくもないので胃にもたれず、腹持ちがいいのが最大のメリットです。

2つ目は、縁起かつぎでもあり、勝利の女神だからです。私は2年の新人戦の時に初めて大会にうどんを持っていきました。そしてすべてベストで個人では2位をとり、初めて賞状をもらいました。その時から大会にはうどんを持っていくようになりました。

3年になってからの市内大会ではまたしてもベストで2位に入りました。市内大会はなかなか賞状をとる事はできないのに手にする事ができました。東三大会は上に繋がる大会でここで県大会の標準タイムを切れば上に行くことができる大会です。私は練習で、一度もそのタイムを切る事ができませんでした。なので、すごく不安でした。しかし、練習の成果もあり、勝利の女神がほほ笑みました。100分の4秒というギリギリで県への切符を手にしました。私の夏はあつという間だったけれど、すごく内容の濃いものでした。

そしてうどん縁起をかついで本当に良かったと思いました。県大会に行けたのも、賞状がとれたのも、うどんが勝利の女神をつれてきてくれたのかなと思います。

これからたくさんうどんを食べたいです。